

事務事業評価シート

事業番号	51					
事業名	施設維持管理費(津久井郷土資料室、尾崎弔堂記念館、吉野宿ふじやに係る維持管理費)	局名	教育局			
		部名	生涯学習部			
事業開始年度	—	課名	博物館			
根拠法令等	無し	所属長名	井上 明夫			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金(補助先:) <input type="checkbox"/> その他()					
	目的 (何のために)	施設を適切に維持管理するとともに、郷土の貴重な文化遺産や資料等を保存し、展示閲覧に供するため。				
	対象 (誰・何を対象に)	市民				
	事業内容 (手段・手法など)	施設の適切な維持管理のために、適宜修繕等を行うとともに、機械警備、消防設備保守点検及び浄化槽等保守点検などを委託している。 また、各施設に非常勤の管理人を配置して、来館者の施設利用にあたり案内等を行っている。				
事業の必要性	首都圏南西部に位置する市域は、古くから東西南北の文化が交流する場所であり、水と緑に恵まれた山地と関東平野の一部を成す台地を有するとともに、相模川がこれを貫くという地形的な特徴を持っている。 市域全体を学習の場とする「博物館ネットワーク計画」の中で、各施設は、これら市域の文化や自然の多様性を知るための拠点としての役割を担うものであり、郷土愛を育む観点からも、今後も適切に維持管理を行うとともに、活性化を図って行く必要がある。					
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		2,632 千円	3,635 千円	3,675 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	人	人	人
			概算人件費	0 千円	0 千円	0 千円
		嘱託職員・臨時職員等	従事者数	11 人	11 人	12 人
			概算人件費	5,235 千円	5,304 千円	5,670 千円
	人件費 合計		5,235 千円	5,304 千円	5,670 千円	
	総事業費		7,867 千円	8,939 千円	9,345 千円	
市民一人あたりの事業費		0.01 千円	0.01 千円	0.01 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	千円	千円	千円	
	受益者負担金	千円	千円	千円	
	その他()	千円	千円	千円	
	一般財源	2,632 千円	3,635 千円	3,675 千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	施設等管理運営委託料(機械警備、消防設備保守点検、浄化槽等保守点検)			1,270 千円	
	需用費(消耗品、燃料費、光熱水費等)及び役務費(電話料等)			1,029 千円	
	土地賃借料(ふじやのみ)			656 千円	
特殊建築物定期点検(3年に1度)			640 千円		
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	開館日数	日	903	889	895
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	8.7	10.1	10.4
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)				
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	施設運営のため修繕や備品の整備を行うとともに、各施設の収蔵品及び展示資料の把握や活用に努めた。平成22年度来館者実績は、3施設で年間4,111人となっている。今後、情報発信を拡充するなどにより、来館者の前年度比10%増を当面の目標としたい。				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	尾崎弔堂記念館来館者数	人	1162	1489	1640
	津久井郷土資料室来館者数	人	638	748	820
	吉野宿ふじや来館者数	人	1938	1874	2060
特記事項 (事業の沿革等)	「博物館ネットワーク計画」の中で、津久井郷土資料室、尾崎弔堂記念館、吉野宿ふじやは、サブコア施設・サテライト施設を目指すものとして位置づけられている。また、吉野宿ふじやは、国道の拡幅に伴い曳家を予定している。				
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)	3施設については、今後「博物館ネットワーク計画」の中におけるサブコア施設・サテライト施設を目指し、情報発信の拡充などにより来館者増を図っていく。また、老朽化に伴う全体的な修繕や建て直し等、施設の再整備を検討していく。				
評価	《評価の視点》	・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない ・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない ・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	3施設は、それぞれが歴史・民俗資料を中心に展示や保管の役割を果たしており、地域の歴史や文化を後世に残すためにも貴重な存在となっている。当面、予算規模は維持するものの、情報発信の拡充などにより来館者増を図るとともに資料の把握と整理を進める。 将来的には各施設の活性化のため、市域全体あるいは津久井地域全体での各種資料の保存及び活用のあり方について見直し、再整備等を含む事業展開を図る。			
H24年度 予算への反映	精査を行った上で、必要な予算を計上				
経営評価委員会 による意見	●拡充 ⇒ 見直し 歴史資料等の効果的な保存・展示方法について検討を進める。				